教育実践総合センター平成27年度活動概要

広島大学大学院教育学研究科附属 教育実践総合センター 所在地

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1

TEL&FAX: 082-424-7195

http://home.hiroshima-u.ac.jp/cserd/index.htm

E-mail: cserd@hiroshima-u.ac.jp

構成員

センター長 (併任)

教授 岡 直樹

専任教員

《学校教育相談実践部門》

教授 岡 直樹 教授 栗原慎二

特任助教 エリクソン・ユキコ

《教育実践研究開発部門》

准教授(実務家教員) 西本正頼

准教授(実務家教員) 大里 剛

事務補佐員

竹ノ中亜由美

センターの概要

二つの部門を設置し、学校や教育委員会等の教育・行政機関や地域と連携を図りながら次のような活動を行っています。

教育実践研究開発部門では、高い専門性と優れた指導力を持つ教員を養成するための教育事業や研究・カリキュラム開発を行うとともに、学校の実践研究に対するコンサルテーションも行っています。学校教育相談実践部門では、現在の学校教育が抱える問題を解決・予防するための研究や、相談・支援活動を行っています。平成18年度から学校心理教育相談室(にこにこルーム)を設置し、学習や生徒指導・研究相談にかかわる心理教育的支援、学校心理学に関する教育・研究を行うとともに、学校心理学に関する研修の機会を提供しています。

学内での年間活動状況

- (1) 各構成員の主な担当授業
- ① 教育学部
 - ○教職入門

- ○教育課程論
- ○教育方法·技術論
- ○子どもの心と学び支援実習Ⅰ・Ⅱ
- ○心理教育的支援実習Ⅲ
- 生徒・准路指導論
- ○小学校教育実習入門
- ○小学校教育実習観察
- ○小学校教育実習 A · I
- ○地域教育実践 I · II
- ○教育実践演習 他
- ② 大学院教育学研究科
 - ○学習開発基礎課題研究
 - ○学習支援論特講・演習
 - ○心理教育的アセスメント演習
 - ○学習開発講究
 - ○生徒指導・教育相談の理論と実践
 - ○学校カウンセリング論演習
 - ○学校カウンセリング論特講 他

(2) 主催・共催による公開講演会・シンポジウム・研究会等の活動

子どもの心と学び支援セミナー

① 「4人の熱き教師! ミニ実践発表|

対象:現職教員 教職志望の大学生・大学院生

期日:平成27年5月16日(土)

場所:比治山大学6号館

講師: 坂牧由貴(福岡県福岡市立小学校)・魚住 千栄美(兵庫県神戸市立小学校)・和田 都(愛媛県四国中央市立小学校)・中村浩

一 (広島県広島市立中学校)

② 「教室にいるあの子:学び方や行動の仕方の違い」

対象:現職教員,教職志望の大学生・大学院生

期日:平成27年7月4日(土)

場所:県立広島大学

講師:バーンズ 亀山静子 (ニューヨーク市公 認スクールサイコロジスト)

③ 「面接の達人になる!」

対象:現職教員,教職志望の大学生・大学院生

期日:平成27年9月22日・23日(火・水) 場所:極楽寺温泉アルカディア・ビレッジ 講師:栗原慎二(広島大学)

④ 「共同学習 |

対象:現職教員、教職志望の大学生・大学院生

期日:平成27年11月28日(土) 場所:比治山大学6号館201教室

講師:栗原慎二(広島大学)

研究報告:真田穣人(大阪市立小学校/広島大

学大学院)

実践報告:今嶋直人(広島市立中学校)・朝川

佳子 (公立小学校)

⑤ 「SEL ~空気が読める子, キレない子どもを 育てるために~ |

対象:現職教員,教職志望の大学生・大学院生

期日:平成28年1月16日(土)

場所:サテライトキャンパスひろしま 5階 講師:山田洋平(梅光学院大学子ども部)

⑥ 「楽器をとおした子どもの理解 |

対象: 教職志望の大学生・大学院生

期日:平成28年1月13日(水)

場所:広島大学教育学部 第三・四会議室講師:谷本 仰(南小倉バプテスト教会)

(7) 「学級経営」

対象:現職教員,教職志望の大学生・大学院生

期日:平成28年3月26日(土) 場所:比治山大学6号館 講師:栗原慎二(広島大学)

| 教員養成講座 |

対象:教職志望の大学生・大学院生

① 「教員採用試験に向けて~「生徒指導」を切り口に~|

期日:平成27年7月2日(木)

講師:大里 剛(広島大学〔実務家教員〕)

場所:広島大学教育学部 L304-1

② 「教育現場に巣立つ皆様へ~教員生活のス

タートを充実させるために~」

期日:平成28年2月4日(木) 場所:広島大学教育学部L304-1

講師:大里 剛(広島大学〔実務家教員〕)

対外的な教育・研究活動状況

(1) センター専任教員による学外講演等の活動

① 生徒指導・教育相談、認知カウンセリング、学 習支援、アセスメント等に係る講演・演習指導 期間:通年(160回)

対象:主に教員、保護者

人数:約7,500名

- ② 「総社市不登校対策研修会」総社市教育委員会人数:約1,000名
- ③ 「学ぶ意欲を高める学習指導の在り方一言語活動の充実と生徒指導の三機能を生かす指導方法の工夫を通して一~|他

人数:約80名

福山市立済美中学校及び同校区内小中学校教職 員研修

期日: 5/21, 6/23, 7/29, 10/7

④ 「生徒の主体的・協働的な学びを目指した授業 改善 | 他

人数:約90名

世羅町立甲山中学校教育研究会, 校内研修

期日: 7/8, 9/17, 11/20

⑤ 「学習意欲を高め、確かな学力の向上~生徒指 導の三機能を生かした授業づくりを通して~」 広島市立吉島中学校、校内研修

期日: 6/30 人数:約25名

(2) 研究活動

センタープロジェクト研究

- ① 岡山県総社市との協力に基づく共同研究 「マルチレベルアプローチによる生徒指導改革 の研究 |
- ② 「日本版包括的アプローチと生徒指導・教育 相談研修プログラムの開発的研究」

平成27年度教育学研究科共同研究プロジェクト 「子どもの学び支援を通した学生教育の改善に 関する研究」

教育・社会貢献事業

(1) にこにこルーム (学校心理教育支援室) 《学習相談》

にこにこルームの学習相談に参加した学生は 69名。

① 前期(2015年5月13日から2015年7月29日) 水曜日の活動

東広島市内の小学校14校から4年生以上の児童15名を抽選で選び、5月13日から7月29日までの計11回、毎週水曜日17時30分から19時20

分までの110分,認知カウンセリングとレクリエーションのセッションを行い,終了後,毎回ケース検討会を行った。

② 後期(2015年10月28日から2016年2月10日) 水曜日の活動

東広島市内の小学校14校から4年生以上の児童15名を抽選で選び、10月28日から2月10日までの計11回、毎週水曜日17時30分から19時20分までの110分、認知カウンセリングとレクリエーションのセッションを行い、終了後、毎回ケース検討会を行った。また、前期7名、後期11名の児童・生徒に対して60分の個別認知カウンセリングを、毎週火曜日に行った。

③ 夏休み・春休み

2015年8月3~5日の3日間,1回60分,前期の学習相談に参加した小学生12名に認知カウンセリング(サマー・セッション)を行った。2015年8月3・4日の2日間,サマー・スクールを実施した。参加者は小学5年生を対象として公募し,12名に算数・理科,学習の仕方に関わる授業を行った。2016年2月12・15・16日の3日間に後期の学習相談に参加した学生11名に認知カウンセリング(スプリング・セッション)を行った。

④ その他の活動

2015年9月から2016年1月の間に、6名の学 生が広島市内の公立高校にて学習支援を行った (述べ26回)。2015年4月から2016年2月の間に 毎週土・日曜日、13名の学生が東広島市内の児 童養護施設にて学習支援を行った。2015年4月 から2016年2月 毎週木曜日又は金曜日に9名 の学生が東広島市内の公立小学校にて学習支援 を行った。2015年4月から12月の間の11日. 広島市内で行われた農業体験活動(キャンプ) に学生ボランティアとして8名の学生が参加し た。にこにこ広島ルームでは、にこにこルーム 個別学習相談窓口にて受け付けた小学生・中学 生の児童・生徒2名に対して、国語・算数・英 語の認知カウンセリングを30-60分行った(教 科・時間についてはそれぞれの相談のニーズに あわせて決定した)。

《学校臨床相談》

一年間を通じて臨床心理士と大学院生の学生支援員による学校臨床相談活動を実施した。1回の

面接は50分で,原則10回~15回を上限とした回数限定でカウンセリングやソーシャル・スキル・トレーニング(以下SST)等を行った。学生支援員が担当するケースの判別は臨床心理士が行い,インテーク面接の実施後,学生が児童生徒の面接を担当した。

① にこにこ広島ルーム臨床相談(毎週土曜日) 広島ルームでの支援員は1名。

広島市内の相談室において、毎週土曜日 (10:00~16:30) に完全予約制で相談活動を行った。来談件数は14件で、延べ相談件数は57回 (1/31現在)。来談のケースは小学校2年生~高校3年生。不登校及び不登校傾向、いじめ、発達障害に関する相談等が中心であった。

② にこにこ東広島ルーム臨床相談(毎週日曜日) 東広島ルームの支援員は3名。

広島大学キャンパス内の相談室において、毎週日曜日(10:00~17:30)に完全予約制で相談活動を行った。来談件数は17件で、延べ相談件数は72回(1/31現在)。来談のケースは小学校2年生~中学校2年生。不登校及び不登校傾向、いじめに、発達障害、その他精神症状に関する相談であった。また、現職教員を対象に困難な事例に対するコンサルテーションも行った。

③ 定期ケース検討会(木曜日18:00~20:30) 延べ24回

前期・後期共に定期ケース検討会を実施した。 参加学生は事前登録した31名で、臨床心理士 及び学生支援員の担当するケースの事例検討会 を行った。また、学級経営、児童・生徒のアセ スメント、カウンセリング基本技法、SST 技法 等の勉強会を実施した。

④ 学校ボランティア実習

東広島市内の小・中学校,広島市内の情緒障害児短期治療施設,広島市生活困窮世帯学習支援事業等においてボランティア実習(最低5回以上)を実施。学生は実習後に毎回レポートを提出し,教員2名にフィードバックを行った。

《学習相談・学校臨床相談合同の活動》

① 集団ソーシャル・スキル・トレーニング&学 習カウンセリング

地域の児童・生徒を対象に2015年11月19日 ~2016年1月28日まで計5回,集団SSTと認知 カウンセリングを行った。参加者は対人関係の 苦手な子どもや発達障害の傾向のある児童・生徒。前半・後半の2グループ(小学校4~6年生12名,小学校6年生~中学校2年生8名)に別れ,SST は学校臨床相談の学生(大学院生3名と学部生12名)が担当し、認知カウンセリングは学習相談担当の学生13名が担当し教員の指導のもと実施した。

(2) 学校コンサルテーション活動

概要:学校での生徒指導・教育相談に関するコンサルテーション

時期:通年(50回)

対象:教員および保護者等

人数:延べ約120名

(3) フレンドシップ事業「ゆかいな土曜日」

教育実践総合センターの教員をはじめ学内委員17名及び下見地区の地域の方等の学外委員12名から成るフレンドシップ事業運営委員会を組織。「地域教育実践 I・II」の授業として通年で開講した。2015年6月から12月の間,6回の活動を行った。活動時間帯は、午後1時から

午後5時。参加学生は、計49名。児童は東広島市立小学校から募集した58名。児童5~6名と学生4~5名で1班とし、10班を編成、すごろく、お祭りの各5班の2グループでグループ活動や畑での栽培活動などを行った。

(4) 学外から委嘱された委員等

- ·一般社団法人学校心理士認定運営機構認定委員会委員長
- ・NPO広島産業カウンセリング研究会自由区 顧問
- ·日本心理学会専門別議員(第1部門)
- · 日本学校教育相談学会会長
- · 日本学校教育相談学会論文審查協力委員
- · 東広島市青少年問題協議会委員
- ・財団法人こども教育支援財団ディレクター
- ・日本ピア・サポート学会研究紀要委員長
- ・東広島市教育委員会学校教育レベルアッププ ラン推進委員会委員

研究紀要の刊行

・学校教育実践学研究(第22巻)の刊行